

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成25年1月10日(2013.1.10)

【公表番号】特表2012-502743(P2012-502743A)

【公表日】平成24年2月2日(2012.2.2)

【年通号数】公開・登録公報2012-005

【出願番号】特願2011-527911(P2011-527911)

【国際特許分類】

A 6 1 M 25/00 (2006.01)

A 6 1 L 29/00 (2006.01)

A 6 1 L 31/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 M 25/00 3 0 6

A 6 1 M 25/00 3 0 6 B

A 6 1 L 29/00 C

A 6 1 L 31/00 C

【手続補正書】

【提出日】平成24年11月15日(2012.11.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

医療用デバイスであって、

第1の複数のスロットを含むハイポチューブと、

医療用デバイスが一方向への優先曲げを示すようにするための、ハイポチューブの第1の側面の外側に沿って配置された追加の外側制限構成要素と、を備える、医療用デバイス。

【請求項2】

追加の外側制限構成要素は、軸方向に延びる制限ファイバである、請求項1に記載の医療用デバイス。

【請求項3】

追加の外側制限構成要素は、第1の複数のスロットの少なくとも一部を広がることはできるが閉じないようにしていることとを特徴とする、請求項1に記載の医療用デバイス。

【請求項4】

追加の外側制限構成要素は、第1の複数のスロットの少なくとも一部を閉じることはできるが広がらないようにしていることとを特徴とする、請求項1に記載の医療用デバイス。

【請求項5】

ハイポチューブ自体が一方向への優先曲げを示すようになされている、請求項1に記載の医療用デバイス。

【請求項6】

第1の複数のスロットのうち少なくとも一部は、ハイポチューブが一方向への優先曲げを示すように構成されている、請求項1に記載の医療用デバイス。

【請求項7】

第1の複数のスロットのうち少なくとも一部は、ハイポチューブが一方向への優先曲げ

を示すような大きさである、請求項 1 に記載の医療用デバイス。

【請求項 8】

第 1 の複数のスロットのうち少なくとも一部は、ハイポチューブが一方向への優先曲げを示すような形状に作られている、請求項 1 に記載の医療用デバイス。

【請求項 9】

ハイポチューブは、第 1 の側面と対向する第 2 の側面をさらに有し、

第 1 の側面には第 1 の複数のスロットが配置されており、

第 2 の側面には第 2 の複数のスロットが配置されている、請求項 1 に記載の医療用デバイス。

【請求項 10】

第 1 の複数のスロットのうち少なくとも一部は、第 2 の複数のスロットのうち少なくとも一部の長さに等しい長さを有する、請求項 9 に記載の医療用デバイス。

【請求項 11】

第 1 の複数のスロットのうち少なくとも一部に架け渡されている電気活性ポリマー・セグメントをさらに備える、請求項 1 に記載の医療用デバイス。

【請求項 12】

電気活性ポリマー・セグメントの一部を選択的に活性化するように構成された導電パターンをさらに含む、請求項 1 に記載の医療用デバイス。

【請求項 13】

医療用デバイスであって、

外側表面と、外側表面に対して軸方向において形成された螺旋状の切込みとを有する長尺状部材と、

医療用デバイスが一方向への優先曲げを示すようにするための、長尺状部材の外側表面の第 1 の側に沿って軸方向に配置された複数のテザーと、を備える、医療用デバイス。

【請求項 14】

複数のテザーは、外側表面の周囲に径方向に等距離には配置されていない、請求項 1 に記載の医療用デバイス。

【請求項 15】

外側表面の周囲に軸方向に配置された 3 つのテザーを備える、請求項 1 に記載の医療用デバイス。